

イパネマの娘

ソロ・ギターの
しらべ 至上のジャズ・アレンジ篇

難易度

B

ボサ・ノヴァの中で最も有名なこの曲を
パーカッシブなリズム・アクセントでプレイ

CD
Track

15

「GAROTA DE IPANEMA」 Words by Vincius De Moraes, Music by Antonio Carlos Jobin
© Copyright 1963 by UNIVERSAL-DUCHESS MUSIC CORPORATION
All Rights Reserved. International Copyright Secured.
Print rights for Japan controlled by K.K. MUSIC SALES

アントニオ・カルロス・ジョビンが1963年に作曲した、ボサ・ノヴァの代表曲と言える名曲。ボサ・ノヴァはもとより、ポピュラー歌手やジャズ・ミュージシャンにも数多くカバーされている。

正統派のボサ・ノヴァ・ソロ・ギターに関しては、佐藤正美氏による『ボサ・ノヴァ・ギターのしらべ』（弊社刊）に弾きやすく美しい好アレンジが収録されているので、ここではちょっと変則的に、消音を兼ねたボディ・ヒットをリズム・アクセントにしてみた。

① **A** 1小節目～6小節目までの×は、直前のコードを弾いたあと、×で右手の指を強めに弦に乗せて（叩いて）消音し、同時に弦が指板に当たる音を出してリズムのアクセントにしている。右手の指は、スタンバイも兼ねて次に弾くコードで使う弦に乗せると良い（写真1）。

② 押さえた小指をそのまま滑らせて次のC7へ。

③ ×の次の音がベース音のみの場合（①と④以外すべて）は、そのベース音を弾く親指で、5弦または6弦を叩くようにして弦が指板に当たる音を出す（P.89：“特殊奏法”参照）。

④ この×は、弦ではなくボディを叩く。ブリッジの脇など、低めの打音が出るようなところが良いが（写真2）、次のコードのピッキングに無理があるようなら、あまり右手を動かさないで叩くと良い。

⑤ 6弦を中指で押弦し、そのまま滑らせて次のG $\flat$ △7へ（図1）。

⑥ メロディだけになる部分の運指は、同じ形が並行移動しているだけ（すべて人差指から押弦するようにしてある）。

⑦ 1弦開放の音を伸ばしたまま消さないように注意。

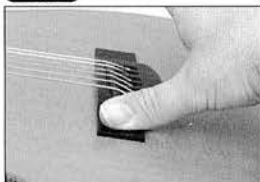
● 奏法ポイント ●

● 写真1



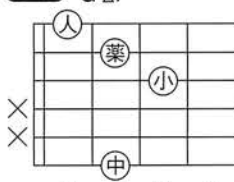
消音とリズム・アクセントを兼ねている。

● 写真2



ブリッジ脇を叩いている。

● 図1 G $\flat$ △7



1 2 3 4

F Δ 7⁽⁹⁾ G Gm7 1.3.
 C7 F Δ 7 C7 (9,13) 2.4. Gm7 Caug to Φ
 F Δ 7 G Δ 7 C Δ 7⁽⁹⁾ C Δ 7
 F Δ m7⁽⁹⁾ D7⁽⁹⁾ D7 Gm7⁽⁹⁾
 E Δ 7⁽⁹⁾ E Δ 7 Am D^(-9,11) Dadd9 Gm C7 (9,11) D.C.
 Φ Coda F Δ 7 C7⁽⁹⁾ F Δ 7 C7⁽⁹⁾ rit. s. F Δ 7

L(1) L(2) L(3) L(4) L(5) L(6) L(7)